

令和3年3月19日

教育学部長 殿

教育学部 FD 委員会  
委員長 渡邊 耕二

令和2年度学生による授業評価、授業評価 GPA と特定の授業との関係、学生の授業外学修時間に関する報告書

FD (ファカルティ・ディベロップメント) 活動とは、「授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み」(「21 世紀の大学像答申(平成 10 年)」)と規定されており、2008 年に改正された大学設置基準では、FD 活動は義務となっている。教育学部では、平成 26 年度開学時に FD 委員会を設置し、FD 活動として、まず第 1 番目に学生による授業評価を実施し、ついで、この結果を受けて教員による授業点検シートを活用して授業改善をおこなってきた。授業評価も当初は専任教員のみで実施してきたが、平成 29 年度より専任教員に加え学外の非常勤講師における授業評価結果も公表するようにした(平成 29 年度後期の授業評価はデータベースの不具合が発生したため、前期のみ公表)。このように、教員個人の PDCA を包含する学部の FD 活動の PDCA サイクルを機能させつつ不断の教育改善に努めてきた。

令和2年度は、平成 30 年度以降令和2年度までの授業評価結果の推移を調べ、教育学部の FD 活動が機能してきたかに焦点をあてることにした。

今年度、従来通り、教育学部が開講しているすべての授業「教養用教育分野(教養基礎科目、教養発展科目)、専門教育分野(専門基礎科目、専門科目)及び卒業論文」について、学生による授業評価結果3年間分を整理し、それら結果の推移を調べた。ついで、授業評価結果といくつかの授業科目の成績評価との関係を調べた。最後に、学生の授業外学修時間を調査し、これについても3年間分その時間の推移を調べた。

**【学生による授業評価】**

授業評価アンケートは Web 入力システムを用い、前期分は 7 月 15 日～7 月 31 日までに間実施した。従来通り、授業評価項目は、「1. 学生の受講態度について③ 項目」、「2. 授業内容について 6 項

目」、「3. 授業の進め方について 4 項目」、「4. 担当教員 について3項目」、「5. その他 2 2 項目」) について行った。後期においても令和 3 年 1 月末に実施しているが、例年前期分について取りまとめを行った。今回、専任教員及び非常勤講師全科目における授業評価について、平成 30 年度より行っているが、令和 2 年度までの 3 年間分の推移を比較する目的で表 I に一括して取りまとめた。

教養用教育分野(教養基礎科目、教養発展科目)、専門教育分野(専門基礎科目、専門科目)及び卒業論文の順に整理した。また、アンケート中の項目の評価は、従来通り、十分(4 点)~しなかった(0 点)で評価し、評価平均値を教員 GPA とした。平成 30 年度文部科学省による再課程認定及び保育士養成課程における科目等の見直し(学年進行で履修するため、2019 年度新設科目として設置)と学生の教科力の実態から教科・教育法の見直し(主要 4 科目の教育法 I~III を I、II に減じ、同じ主要 4 教科について 1 科目 2 単位は I & II : 4 単位に増やした。)を行ったこと及び新たに学校インターンシップ科目(必修)を追加したため令和 2 年度のカリキュラムで授業評価を実施していない科目がある。また、受講者が 5 人未満であることから未開講となった科目があった。

令和 2 年度における学生による授業評価について、開講された 102 科目を総括すると、教員 GPA が 3.5 以下と評価された科目はわずか 2 科目であった。本学部の専任教員及び非常勤講師の全教員が学生に対する教育において如何に素晴らしい授業を行っているかのエビデンス「 $(3.5/4.0) \times 100 = 87.5\%$ の学生が満足と評価」であると考えている。飛躍するが、このような素晴らしい授業と教育学部ニューズレターや大学ホームページ等で報告しているように、県内トップの教員採用試験現役合格率を出している教育成果につながっているものと自負している。

ついで、専任教員及び非常勤講師が担当するすべての授業において、平成 30 年度~令和 2 年度までの評価の推移をみると、3.5 以下の科目は平成 30 年度 11 科目、令和元年度 6 科目、令和 2 年度 2 科目と年々減少する傾向にあった。教育学部では、学生による授業評価をうけて、教員個々が授業改善を行うために、授業点検シートに次期の授業ではどのように改善するかを明記するようにし、教員個人の PDCA サイクルを機能させるように周知している。さらに、教育学部の FD 委員会においてこれらを取りまとめて FD 活動として教員間で共有するようにしている。開学以来、このような FD 活動を継続してきた結果であると考えている。

表1 学生による授業評価結果 (平成30年度～令和2年度)

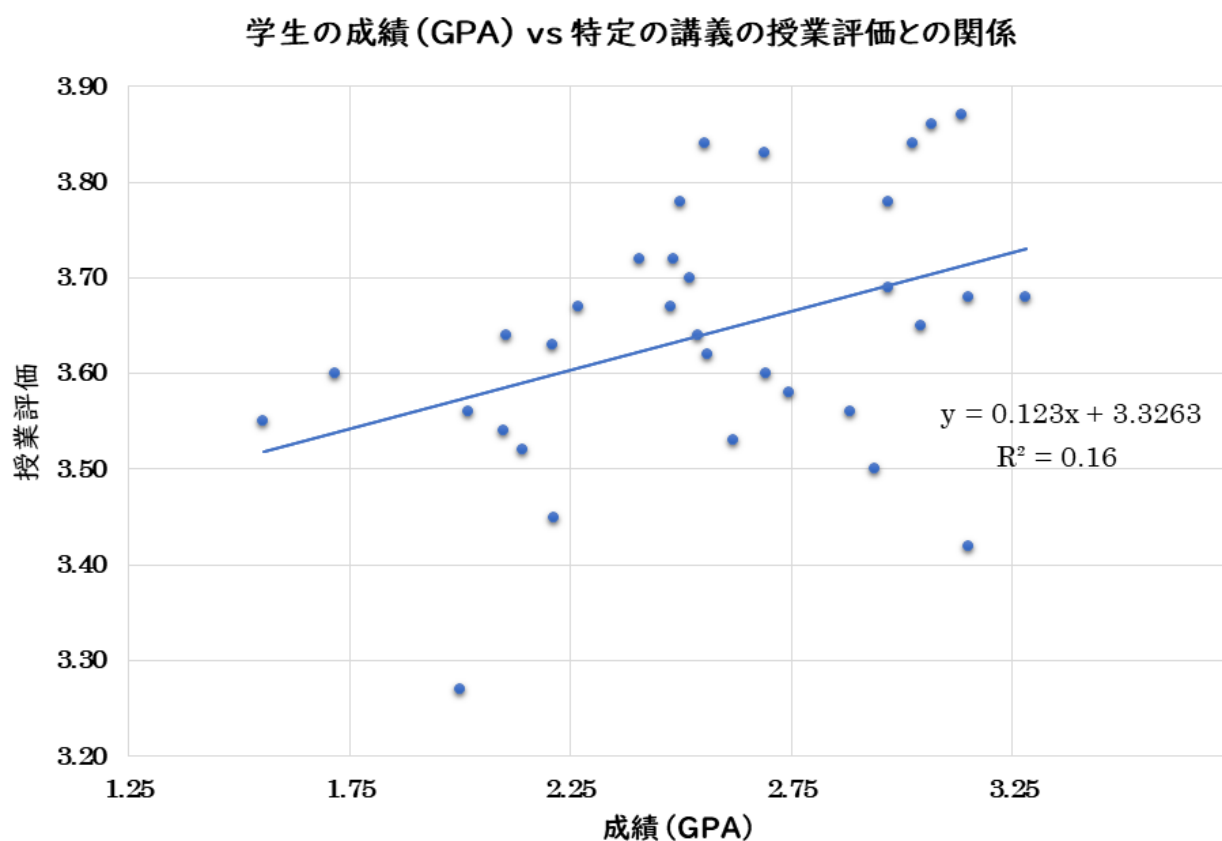
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	授業形態	2018年度 (平成30年度)				2019年度 (令和元年度)				2020年度 (令和2年度)				
					前期		後期		前期		後期		前期		後期		
					受講者数	評価点(平均)	受講者数	評価点(平均)	受講者数	評価点(平均)	受講者数	評価点(平均)	受講者数	評価点(平均)	受講者数	評価点(平均)	
教養基礎科目	忍ヶ丘教養Ⅰ	1前	2	講義	45	3.65			52	3.6			44	3.64			
	忍ヶ丘教養Ⅱ	1後	2	講義				46	3.69			51	3.85		43	3.51	
	忍ヶ丘教養Ⅲ	2前	2	講義	44	3.6			42	3.67			50	3.69			
	忍ヶ丘教養Ⅳ	2後	2	講義				43	3.58			39	3.78		46	3.83	
教養発展科目	人と文化	文学	1後	2	講義								3.81			29	3.5
		教師とは何かー史的省察	1前	2	講義	10	3.49			6	3.45					4	3.64
		倫理学	1後	2	講義				41	3.53			44	3.80		34	3.38
		心理学概論	1前	2	講義	46	3.85			48	3.60			26	3.75		
		日本語表現	1前	2	講義	26	3.77			14	3.74			19	3.56		
		音楽と文化	1前	2	講義	13	3.58			10	3.00			9	3.83		
		こども音楽療育士概論	1～4前	2	講義	31	3.86							26	3.87		
		こども音楽療育士演習	1～4後	1	演習	31	3.73				3.92					25	3.86
	こども音楽療育士実習	1～4通	1	実習	31	—		3.89		—	3.89		23	3.71			
	国際・社会系	国際社会論	2前	2	講義	6	3.67			11	3.74			4	3.9		
		現代社会と歴史	2前	2	講義	—				—							
		日本国憲法	1前	2	講義	47	3.73			52	3.76			43	3.68		
	自然科学系	数学と生活	1後	2	講義				14	3.59			22	3.81		8	3.6
		環境と科学	1後	2	講義				19	3.68			29	3.94		49	3.85
		生命と科学	1後	2	講義				12	3.71			13	3.64		39	3.61
		食の科学	1前	2	講義	16	3.56			22	3.6			3	4.00		
		情報処理Ⅰ	1前	2	演習	46	3.46			52	3.61			43	3.68		
	外国語系	情報処理Ⅱ	2前	2	演習					16	3.43						
		英語Ⅰ	1前	2	講義	45	3.55			52	3.27			53	3.67		
		英語Ⅱ	1後	2	講義				24	3.49			20	3.80			
英語コミュニケーションⅠ		1後	1	演習				46	3.76			51	3.88		41	3.7	
英語コミュニケーションⅡ		2前	1	演習	47	3.54				3.62			49	3.73			
英語コミュニケーションⅢ		2後	1	演習				6	3.58			5	3.75				
Special Studies in EnglishⅠ		3後	1	演習									8	3.8			
Special Studies in EnglishⅡ		4前	1	演習											5	3.96	
健康の科学		1後	1	講義				43	3.7			51	3.72		43	3.49	
体育実技		1前	1	実技	45	3.84			52	3.76			42	3.78			
専門基礎科目	対象の理解	子どもと食育	1後	2	講義				5<				9	3.66			
		教職概論	1前	2	講義	46	3.42			52	3.45			44	3.5		
		教育原理	1後	2	講義				45	3.60			51	3.72		43	3.43
		教育心理学	1後	2	講義				46	3.68			51	3.82		43	3.62
		教育制度論	3後	2	講義				32	3.51			40	3.57		40	3.36
		保育原理	1前	2	講義	15	3.77			25	3.75						
		児童家庭福祉	3後	2	講義				22	3.67			22	3.93		16	3.83
		社会福祉	3前	2	講義	27	3.62			27	3.66						
		相談援助	4前	1	演習	13	3.95				3.56						
		社会的養護	3前	2	講義	27	3.61			26	3.59					15	3.89
	専門科目	保育者論	1後	2	講義				26	3.79			27	3.92		8	3.9
		保育の心理学Ⅰ	2前	2	講義	27	3.75			10	3.60						
		子ども家庭支援の心理学	2後	2	講義	—	—	—	—	—							
		保育の心理学Ⅱ	2後	1	演習				14	3.7			9	3.88			
		子どもの保健Ⅰ	3通	4	講義	14	3.6			14	3.67						
		子どもの保健Ⅱ	3後	1	演習				12	3.69			12	3.98		10	3.78
		子どもの食と栄養	2後	2	演習				22	3.66			18	3.61		15	3.52
		家庭支援論	4前	2	講義	14	3.95			21	3.64					26	3.7
		臨床心理学	2後	2	講義				20	3.53			33	3.83		12	3.86
		教科・基礎技能	国語(書写を含む。)	1前	2	講義	46	3.6			52	3.70			44	3.69	
国語Ⅱ	3前		2	講義	—	—	—	—	—						21	3.77	
社会	1後		2	講義				36	3.62			41	3.93		36	3.71	
社会Ⅱ	3前		2	講義	—	—	—	—	—								
算数	1前		2	講義	45	3.67				3.67			45	3.56			
算数Ⅱ	3前		2	講義	—	—	—	—	—				25	3.73			
理科	1後		2	講義				37	3.59			40	3.80	37.00	3.76		
理科Ⅱ	3前		2	講義	—	—	—	—	—				11	3.83			
生活	2前		2	講義	25	3.86			40	3.69					41	3.59	
音楽	1前		2	演習	45	3.86			52	3.87			43	3.84			
図画工作	2前		2	演習	21	3.65			15	3.73			32	3.81			
家庭	2前		2	講義	4	3.96			13	3.78					23	3.77	
体育	1前		2	演習	32	3.85			17	3.61			27	3.81			
英語	2前		2	講義									16	3.81	35	3.65	
ピアノ・声楽Ⅰ	2前		1	演習	32	3.67~3.82				3.53~3.86			42	3.84~3.98			
ピアノ・声楽Ⅱ	2後		1	演習				38	3.71~3.95			30	3.67~3.96		23	3.76~4.0	

専 門 教 育 分 野	教 育 科 目	教育課程・指導法	ピアノ・声楽Ⅲ	3前	1	演習	16	3.49~ 3.82		18	3.56~ 3.86		14	3.94					
			ピアノ・声楽Ⅳ	3後	1	演習			9	3.74			40	3.88			13	3.95, 4.00	
			子どもの音楽活動	2後	1	演習			41	3.71				3.83			48	3.8	
			子どもの英語活動Ⅰ	2前	1	演習	43	3.62			44	3.69							
			子どもの英語活動Ⅱ	2後	1	演習			22	3.68			20	3.77					
			国語科教育法Ⅰ	3前	2	演習	21	3.42			31	3.55			38	3.36			
			国語科教育法Ⅱ	3前	2	演習	15	3.44			27	3.51			24	3.62			
			国語科教育法Ⅲ	3後	2	演習			5	3.79			12	3.80	—	—	21	3.72	
			社会科教育法Ⅰ	3前	2	演習	22	3.53			31	3.50							
			社会科教育法Ⅱ	3前	2	演習	8	3.87			25	3.58					22	3.56	
			社会科教育法Ⅲ	3後	2	演習			10	3.75			18	3.77					
			算数科教育法Ⅰ	3前	2	演習	21	3.53			30	3.64						35	3.72
			算数科教育法Ⅱ	3前	2	演習	12	3.59			19	3.73							
			算数科教育法Ⅲ	3後	2	演習			10	3.45			20	3.83			23	3.82	
			理科教育法Ⅰ	2後	2	演習			30	3.54			31	3.72			36	3.63	
			理科教育法Ⅱ	3前	2	演習	10	3.67			23	3.58			27	3.74			
			理科教育法Ⅲ	3前	2	演習	10	3.64			21	3.62			25	3.8			
			生活科教育法	2後	2	演習			30	3.54			31	3.26	37	3.71			
			音楽科教育法Ⅰ	2前	2	演習	28	3.75			35	3.69			37	3.84			
			音楽科教育法Ⅱ	3前	2	演習	8	3.4			19	3.82			22	3.8			
			図画工作科教育法Ⅰ	2後	2	演習			31	3.58				34	3.70			37	3.64
			図画工作科教育法Ⅱ	3前	2	演習	15	3.57											
			家庭科教育法	3前	2	演習	21	3.36			32	3.56			31	3.74			
			体育科教育法Ⅰ	3前	2	演習	23	3.5			30	3.82			33	3.76			
			体育科教育法Ⅱ	3後	2	演習			9	3.6			18	3.73			17	3.82	
			英語科教育法Ⅰ	2後	2	講義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			英語科教育法Ⅱ	3前	2	講義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			道徳教育の指導法	2前	2	講義	30	3.58			33	3.74							
			総合的な学習の時間の指導法	2後	1	講義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	3.68	
			特別活動の指導法	2後	2	講義			30	3.7			33	3.75			35	3.73	
			特別支援教育概論	3後	2	講義			11	3.55			24	3.58			31	3.65	
			教育の方法と技術	2後	2	講義			44	3.25			42	3.79					
			学級経営論	3前	2	講義	21	3.52			30	3.62							
			協同学習論	3後	2	講義											11	3.95	
			教育課程論	2前	2	講義	45	3.54			42	3.72							
			環境教育論	3後	2	講義					13	3.2					15	3.91	
			学習の科学	4前	2	講義	21	3.85			—	—			10	3.96			
			特別演習	4前	1	演習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			生徒指導・進路指導	2後	2	講義			29	3.74			33	3.78			42	3.79	
			幼児理解	3前	2	講義	35	3.67			43	3.68					38	3.86	
			教育相談	2前	2	講義	45	3.77			40	3.63			49	3.5			
			保育課程論	2前	2	講義	44	3.61			42	3.78							
			保育内容総論	2後	1	演習			44	3.53			40	3.63			46	3.46	
			保育内容指導法(健康)	2後	2	演習			31	3.5			23	3.71			31	3.74	
			保育内容指導法(人間関係)	2後	2	演習			41	3.7			34	3.8			32	3.84	
			保育内容指導法(環境)	2前	2	演習	42	3.62			39	3.59			45	3.84			
			保育内容指導法(言葉)	2後	2	演習			34	3.74			10	3.92			18	3.8	
保育内容指導法(音楽表現)	2前	2	演習	44	3.77			36	3.68			31	3.82						
保育内容指導法(造形表現)	2前	2	演習	43	3.56			41	3.84										
障害児保育	3前	2	演習	15	3.2			19	3.41			15	3.7						
保育相談支援	3後	1	演習			15	3.67							11	3.77				
社会的養護内容	4前	1	演習	15	3.89			21	3.70										
乳児保育Ⅰ	1後	2	演習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3.9				
乳児保育Ⅱ	1後	2	演習			18	3.67												
ことばと遊び	1前	2	演習	20	3.82			36	3.86										
音楽と遊び	1後	2	演習			41	3.74							42	3.83				
造形表現演習	3前	1	演習	21	3.38			19	3.56										
幼児体育演習	3後	1	演習			16	3.14			15	3.88			13	3.9				
教育実習指導	3後	1	実習			31	3.66			42	3.74			40	3.79				
教育実習Ⅰ(小学校)	3後	4	実習			20	3.76			27	3.88			31	3.9				
教育実習Ⅰ(幼稚園)	3後	2	実習			31	3.65			40	3.77			13	3.78				
教育実習Ⅱ(幼稚園)	3後	2	実習			11				12	3.9			8	3.82				
保育実習指導Ⅰ	2後	2	演習			11	3.74			9	3.92			11	3.85				
保育実習Ⅰa	2後	2	実習			14	3.79			9	3.95			2	3.92				
保育実習Ⅰb	3前	2	実習					14	3.39			7	3.84						
保育実習指導Ⅱ	4前	1	演習		3.98			11	3.60			12	3.95						
保育実習Ⅱ	4前	2	実習		3.99			11	3.55			6	3.92						
保育実習指導Ⅲ	4前	1	演習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
保育実習Ⅲ	4前	2	実習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
学校インターンシップ	1前	1	実習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
実践演習	教職実践演習(幼・小)	4後	2	演習			36	—	—	—	29	3.53			40	3.66			
介護等体験	保育実践演習	4後	2	演習			10	—	—	—	11	3.70			13.00	3.84			
卒業論文	卒業論文	4通	4	演習	36	—	—	31	3.91					40	3.93				

以上のように、大多数の教員がFD活動に対して積極的・熱心に協力してきた結果として、本学部の教育の水準を維持・向上に向けて機能していることは心強い限りである。

### 【授業評価GPAと特定のいくつかの授業成績との関係】

毎年の報告書では、授業評価結果に影響を及ぼす要因について、取り上げて解析を行っている。今回は、授業II科目(忍ヶ丘教養I&II、算数・算数I、英語I、教職概論、国語・国語I、音楽、学級経営論、理科教育法I、保育内容指導法(造形表現))と授業評価GPAとの関係について調査した。なお、開講されている教育学部の授業の中で、受講者数が多い科目を抽出し、3年間におけるわたって相関関係を分析した。



その結果、授業評価GPAと成績は、統計的に有意ではないが、右肩上がりの正の相関関係にある可能性が指摘された。抽出したII科目は授業評価において一部を除き3.5以上の評価であったが、厳し

い成績評価を行うと授業評価は悪くなる可能性が考えられた。一般的に、単位認定があまり授業は授業評価は高くなるといわれている。本調査の結果も解釈によっては、一般的に言われていることを支持するが、さらに、調査科目を増やして、再度検討するように考えている。

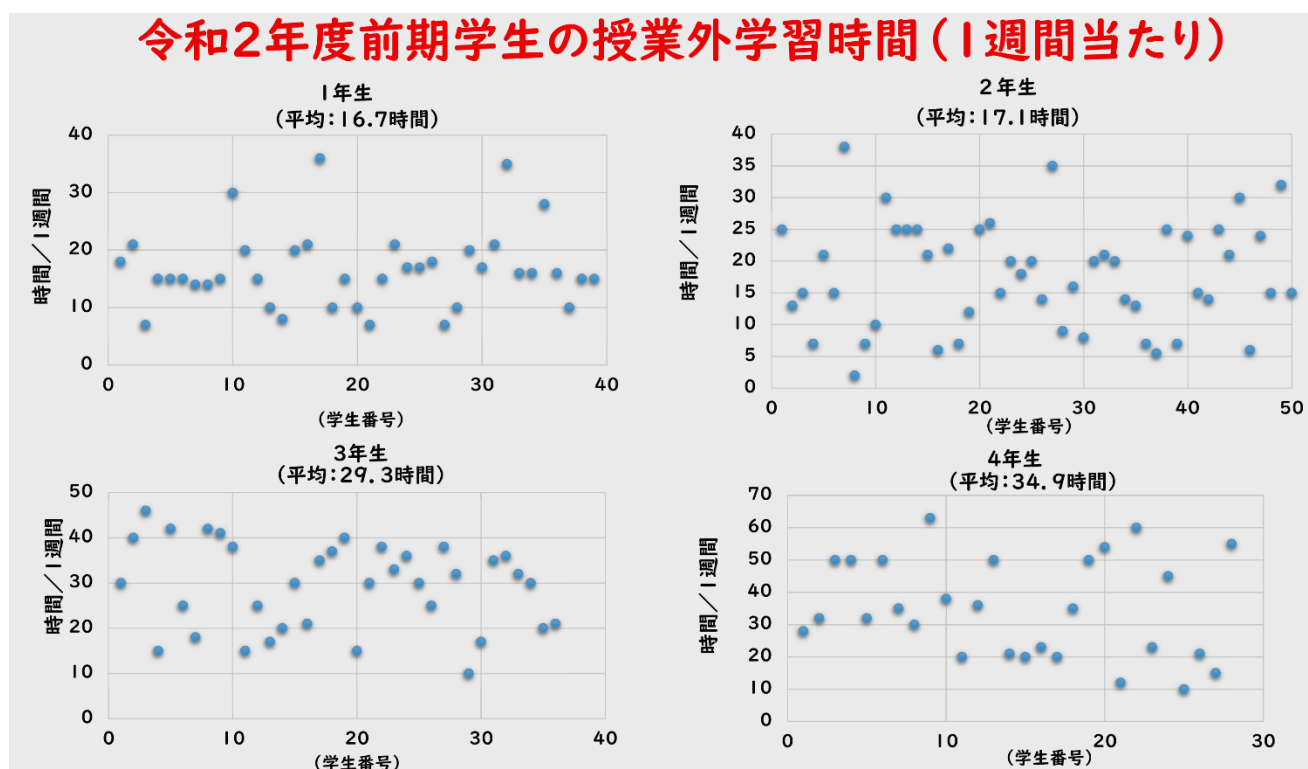
### 【学生の授業外学修時間の調査結果】

学生の授業外学修時間の調査は、例年前期及び後期の学期末試験前に学生による授業評価を行う時に同時に Web システムで調査している。今回、例年通りに前期分について報告する。

・調査期間：令和2年7月21日(火)～令和2年7月27日(月)の間

・調査対象学生：教育学部 1年生～4年生

中央教育審議会答申『我が国の高等教育の将来像』(2005年1月28日)は、単位制度の考え方について、「単位制度の実質化(単位制度の趣旨の沿った十分な学習量の確保)」として「単位制度の実質化」を促している。すなわち、大学設置基準(単位)第二十一条において、各授業科目の単位数は、大学



において定めるものとする。2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育

効果、「授業時間外に必要な学修等」を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。一講義及び演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって一単位とする。（後略） すなわち、『大学設置基準』は、「一単位の授業科目を四十五時間の学修」と規定している。「学修」とは、「授業」と「準備学習」とを合わせたものである」と規定している。従って、本学部では、授業外学修時間を大学における講義以外で自主的に勉強する時間数として規定し、学生には決められた時間数を勉強するように指導してきた。令和2年度における授業外学修時間を上図に示す。

各学年における授業外学修時間は、1週間あたりで、1年生、2年生が16.7時間、17.1時であったが、3年生、4年生では29.3時間、34.9時間であった（1日当たり4時間～5時間の勉強時間）。低高学年では低学年に比べ約2倍の時間を勉強していることになる。なお、4年生における勉強時間は10時間～60時間と大きく異なっている。これは、4年生で小学校課程の学生は、各県で実施される教員採用試験が7月中旬にあることから、現役合格を目指して勉強しており、そうでない学生にくらべ、平均時間より多いものと考えられる。

今回、統計を取り始めた平成29年度以降令和2年度まで同時期の7月中旬に調査した授業外学修時間を表1に整理・比較した。その結果、令和元年度より、1年生～3年生で授業外学修時間が増えているようであった。教育学部では平成30年度より、理科・数学の基礎学力の向上を目指して、理数基礎ゼミを開始した。これは、「理数」の得意な上級生が不得意な下級生を教える形の補習を開始した。その他、英語力向上を目指して、英検（準2級、2級、準1級）対策講座を開講し、さらに英語の不得

表1 平成29年度以降令和2年度までの授業外学修時間の推移（時間／1週間）

	1年生	2年生	3年生	4年生
平成29年度	7.3	9.1	15.2	32.7
平成30年度	8.4	11.9	15.4	32.8
令和元年度	10.9	11.0	20.3	32.8
令和2年度	16.7	17.1	29.3	34.9

意な学生を対象に英検2級を取得した学生による対策ゼミをスタートさせた。このように教員・保育者を目指す学生にとって必須である理数英の基礎学力アップを目指した学習支援を開始している。また、教員採用試験現役合格した4年生が報告会を開催し、下級生に対して合格のための勉強方法や勉強時間等を説明するようになった。このような一連の取り組みが1年生、2年生における授業外学修時間の増加につながったと考えている。